◇━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━◇

公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン　Vol.186　2026/10/15

◇━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。

今号は以下の内容でお送りいたします。

★──INDEX──────────────────────★

[1]【三役コラム】「今年度の航空安全講習会について」
（ご参加パイロットの皆様からの声/アンケート）
[2]【常務理事コラム】「近場だから大丈夫」その油断が命取りに
[3]【VOICES FEEDBACK】
[4]【お知らせ】JAPA E-Journal の公開
[5]【お知らせ】セミナー・イベント
[6]【新発売】JAPA SHOP よりご案内
[7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内

★━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

[1]【三役コラム】「今年度の航空安全講習会について」
（ご参加パイロットの皆様からの声/アンケート）

副会長 大澤一朗

★━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

パイロットの皆様、航空安全講習会を定期的に受講なさっていらっしゃいますか。JAPA では今年度も下表のとおり全 5 回の航空安全講習会の開催を計画しており既に 3 回を開催済みです。
年度内はあと 2 回が計画されていますので知識のリフレッシュを

兼ねて受講なさっては如何でしょうか。

【2026 年度 開催計画】
2026 年
4 月 19 日（日）／埼玉／実開催
　開催済（35 名受講）
6 月 27 日（土）／熊本／ハイブリッド
　開催済（29 名受講）
8 月 23 日（日）／東京／ハイブリッド
　開催済（21 名受講）
11 月 22 日（日）／東京／ハイブリッド
　受講募集中

2027 年
2 月 28 日（日）／東京／ハイブリッド
　（開催予定）

４、６、８月の講習会を受講頂いた皆様からアンケートで多くのご意見を頂戴いたしましたので以下にご紹介させて頂きます。
「全体のご意見・ご感想等ございましたらご自由にご記入下さい（講習会内容、制度等何でも結構です）」欄にご記入を頂いた内容のほぼ原文を記載しています。（※特定の組織や人物が特定されるような部分は補正させて頂いています。）

ーご意見・ご感想ー

・テストは時間を取って、ちゃんとやってみたかった。
・今年度もありがとうございました。
・休憩が一回だけでぶっ通しだったので少し集中力が下がりました。短時間でも良いので休憩を取った方が良いかと思います。限られた時間なので難しいと思いますがグループワークなんかも取り入れたりすると他の人の考え方も勉強になるので良いと思います。
・新しいシステムＳＷＩＭの使い方についてご教授ください。
・いつもためになる話をありがとうございます。毎年気持ちがリフレッシュします。

・内容はわかりやすくて良いと思いました。でも、休憩が 1 回しかなかったので、トイレ渋滞がながかったので、トイレタイムはあと 1 回増やしたほうがよいのでは。みんな、若くないし(笑)
・休憩は 2 回が良いと思います。10 分でも良いので。
・リモート講習では得られない対面式の良さがあると思います。
これからも対面方式を残してください。
・この度もまた、大変にお世話になりまして、有難うございました。いずれの講習に於いても、実例を掲げた内容であり、送付いただきました資料の参考絵図、文献、また文字サイズ等、とても見やすく、理解し安かったです。ただ、こうした安全講習や制度の改正等が実施されている中でも、アクシデントは起きている現状と、安全飛行、航行の心がけに努力をしながらも、年々飛行環境が狭まれている現状を、とても寂しく思います。
・アメリカのライセンスの切替えを行い、4 月上旬に日本の技能証明書を取得したばかりだが、今回の講習会で日本で飛行する上で注意すべきポイントを学ぶことができたので非常に有意義でした。
・毎年埼玉で開催されありがたく思っています、モーターグライダーでやっています。実地試験立ち合いもしていますが、飛行機並みの知識を要求されています。AIM に沿った実際の飛行に当たってのレビューの講習もあってもいいかと思います、これからも頑張ってください。ありがとうございました。
・小型飛行機の事故の実例をもとに説明されたので、興味を持って聞くことができました。
・いつも講習会に参加させて頂き、とても参考になっております。
・プライベートパイロットは約 2 ヵ月に 1 回飛行するが毎日飛行している人から比べると情報の取り方、手順などを忘れることがある、プロの飛行場に着いてから帰るまでの実勤務を知りたい。また失敗談も知りたい。
・パワポの動的な仕掛けは控えたほうが、PDF 化した場合に有効ではないか。
・集中して受講出来ました。
・ベテラン勢が減少していく中で、彼らのヒューマンエラーを防ぐ方法や、矜持みたいな人間が砦となるように、昭和の人間はそういう一手間加えて防いできた話など、あっても良いのかとも、年をとると思うことがあります。
・テキストが web（URL）で Wi-Fi 対応だったが　PDF の方が印刷でき

後で繰り返し学習できるので前年のようにPDFにしてほしい。
・事前に配布されたPDFの資料は、パワポのようなアニメ機能が無く何を説明しているのか分からない個所が多く有りました。
講義を聞いて　アニメの動きでやっと内容が分かりました。配布資料は、データー容量が大きくなっても、パワポで頂けると事前の予習での
理解度が上がり充実した受講になると思います。来年度も受講致しますので、今後ともよろしくお願い致します
・講師の「？？？？」質問について、時間をかけてしっかり回答し、結果を分析したかった。
・事故事例は参考になります。が　個人の特定ができる件が毎回出ると、人権が心配です。
・短い時間に役に立つ情報を満載でした。
・今回の講習は例年にない豪華な講師陣で良かったと思います！
・リモートでの音声は映像以上に大事なので、音声のクオリティは一定以上の品質を保っていただきたいです。
・地元にいるJAPAの理事は参加され、手伝いをされた方が良い。
・丁寧でよかったです。
・前半の内容は、個人でもある程度振り返ることができる内容もあるので、目的がやや飛躍するかもしれませんが、「地上風とARC」のように実践的な内容にもう少し比重を置いていただければ、より効果的になるのではないかと思いました。
・操縦する上で必要な知識やチェックリストの重要性またフライトをやめる勇気の大切さを学んだ。
・ｗｅｂ受講出来る講習会は助かってます。
・実出席の講習が必要だと再認識した。
・航空安全講習会を受講するにあたり、去年の受講した同僚の資料を読んだうえで受講した。感想については、人それぞれあると思いますが、特に最終講義については内容の変更等を検討して欲しいと感じる内容でした。
・NOTAMのパラメーターの入力の仕方とデータの取り方についても簡単に説明をいただけるとありがたい。
・関係スタッフの皆様や講師の皆様には大変お忙しい中に、私たちの安全運航のためにこのように準備や時間を作って下さり、ありがとうございました。これからも安全運航に努めます。
・私にとって、講習会に参加することが、必要な情報の収集・

知識の習得の貴重な機会です。今後とも宜しくお願いします。
・会場で受講する意味がないですね。
・またよろしくお願いします。
・講習会はやはり対面の方が理解できる　できれば対面講習会は継続してほしい。
・全般を通し、しばしば音声が小さくなる事が発生した。要改善。
・今年度もありがとうございました。
・同一の形態にあってもレシプロ、タービン機を含めたパイロットの視点での違った考え方や対処、運用等、限られた時間で準備も大変と思いますが密な講義も期待します。ありがとうございます。
・また来年も熊本で開催をお願いします。
・ありがとうございました。
・パイロットが飛行中に遭遇する気象条件について、パイロットがどのように判断するのか。
・年に 1 回でも良いので回転翼の講演があれば良いと思います。
・インターネットでの開催は、参加のハードルを下げる効果がありますので、今後もよろしくお願いします。
・SWIM の解説も入れてください。
・会場講習は登壇者がこちらを向いて話す際は良いのだけど、画面を見ながら説明する際は声が聞き取りにくく、エアコンの吹き出し音に消されていると感じたので、次回からは会場受講もマイクを設置して欲しい。
・国傘下の組織同士のミスによる羽田空港での大惨事。国はもっと傘下団体の指導に注力すべきであり、民間運航事業者や小型飛行機運航者などの外部の団体に着目するのはそのあとであるべきである。日本操縦士協会は国に対する圧力団体としての機能をもっと強力に発揮するべきである。
・違う講師の話も聞きたい。
・リモートの参加者としては、休憩の際の開始時刻を画面に明示していただけると助かります。
・パイロットに必要な安全に関する項目がカバーされていて良かった。
・毎年講習会を受講するよう心がけております。事務局の皆様にはお忙しいところ開催のご対応をいただき、感謝致します。ありがとうございました。
・家が近いのもあり直接参加しましたが、直接参加した人は当日中に受講証明もらえるといいなと思いました。

・今回も受講させていただき、ありがとうございました。受講料の
値上がりには驚きました。
・安全のためには、いろんな事例を知ることの有効性、思い込みや
慣れに注意することが重要だと認識しました。
心に響く講習会でした。
・特技対策でもありますがスキルアップも出来る、とても良い講習
会だと思います。これからも積極的に参加したいと思いますので、
どうぞ宜しくお願い致します。
・実際の動画や写真、図などから事例や用語をご説明いただき、
わかりやすかったです。

たくさんの、また様々なご意見やご要望などを頂きありがとうございました。
引き続き皆様と共に航空安全を推進して参りたいと考えております。
今後とも JAPA 活動へのご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

JAPA　副会長　大澤　一朗

【TOPIC】
≪技能発揮訓練と飛行の制限≫
2025 年 12 月 1 日施行の改正航空法により、航空交通管制圏に係る
空港などにおいて、離着陸等の操縦及び操縦練習などの監督を
行う者に対し、「技能発揮訓練」の受講が義務付けられました。
2028 年 6 月以降は、技能発揮訓練修了証明書を携行していない
場合は前記の飛行を行う事ができません。

航空安全講習会でもご質問を頂いた技能発揮訓練について、
JAPA ホームページの会員ページでご案内をしていますので会員
の皆様は是非ご覧ください。（会員以外の皆さまへのご案内は
今しばらくお待ちください。）

★――――――――――――――――――――――――――――――――

[2]【常務理事コラム】「近場だから大丈夫」その油断が命取りに

常務理事 管　聖

★――――――――――――――――――――――――――――――――

先日の熊本地震では、飛行前の準備と先を読む判断の重要性を改めて感じました。

地震発生時、弊社の仲間が搭乗する航空機は、熊本空港で耐空検査のための飛行中でした。突然の地震により滑走路が閉鎖され、熊本空港に着陸できなくなったため、急遽、佐賀空港へダイバートし、無事に着陸しました。

もし燃料に余裕がなかったら、どうなっていたでしょうか。

思い起こされるのが、数年前、阿蘇を離陸した小型機が燃料枯渇により有明海に不時着水した事故です。近距離の飛行であっても、予期せぬ事態は起こり得ます。

IFR では、代替空港の検討や燃料計画は基本ですが、VFR でも同様に、常に先を読むことが重要です。

目的地が使えなくなったらどこへ向かうのか。その空港までの燃料は十分か。天候が悪化したらどうするのか。

「今、飛べるか」だけでなく、「この先、何が起きても安全に着陸できるか」を考える。

慣れた空域、短時間の飛行だからこそ、油断が生まれます。

「飛べる燃料」ではなく、「安全に着陸できる燃料」を積む。

そして、不測の事態に備え、常に次の一手を考えておく。

IFR でも VFR でも、先を読む判断と余裕ある準備こそが、安全運航の基本ではないでしょうか。

今日も安全なフライトを！

★――――――――――――――――――――――――――――――――

[3]【VOICES FEEDBACK】
≪①≫管制官からの指示に疑問
≪②≫Parking Brake On 直後の機体前進

★――――――――――――――――――――――――――――――――

≪①≫ 管制官からの指示に疑問
〇〇空港で離着陸訓練を実施中、自機はダウンウィンドを飛行しており、旅客機がファイナル上にいるのを視認。
また、自衛隊訓練機が計器進入を実施しているのを無線から知ることができた。“旅客機を視認できたか”と管制官から確認され視認できた旨伝えると、旅客機に続いて進入を継続することを指示された。旅客機が滑走路から離脱し、自機がファイナルに入ったところで、管制官から自機より後方にいる自衛隊訓練機に着陸許可が発出され、当該機が復唱したため、管制官に自機がファイナルにいること、クリアランスの確認をしたいことを伝え（good）ると、すぐに自機へのクリアランス発出、自衛隊訓練機へのクリアランス取消が発出された。
（ VOICES コメント）
交通が輻輳している空域では、誤った管制指示が発出されるリスクもあるので、この事例のように疑義が生じた場合は、すぐに確認することはとても良いことですね。

≪②≫ Parking Brake On 直後の機体前進
福岡空港で Spot へ到着時、所定駐機位置にて PF が Parking Brake を On とし、機体を停止させた。その直後、機体が前進し始めたため、PF が瞬時に Brake Pedal を踏み、機体を緊急停止させた。数秒後に ECAM [BRAKES／PARK BRK FAULT]が表示されたため、ECAM 内容を確認。ECAM 手順として、Brake Release、Parking Brake Off となっていたが、当該操作は機体の再前進を招く恐れが

あったため、PF は再度 Parking Brake を Off then On とした。
その際、Yellow Accumulator Pressure の正常作動及び圧力を確認、機体が確実に停止していることを認めた直後、ECAM 表示も消失。ED MEMO 内の[PRK BRK]表示が確認された。
その後、機側人員により Choke In 作業が行われ、Back to Normal となった。前進距離としては、Nose Tire 1 本分であった。
機側人員にも状況を報告し、機外の人員に怪我人が無い旨、及び Boarding Bridge の装着にも支障が無い旨を確認した。
乗員乗客に怪我人はなく、クレーム等も無かった。
信頼していた Parking Brake が効かないことがあり、自身の航空人生でも怖かった記憶に残るイベントでした。
機体停止を確実に確認するために、PF のみならず、PM の外部監視の重要性を再確認しました。

★――――――――――――――――――――――――――――――――

[4]【お知らせ】JAPA E-Journal の公開

★――――――――――――――――――――――――――――――――

E-Journal を公開致しました。
ぜひご覧ください。

≪運航技術委員会≫
【JAPA E-Journal 2026-010】
米国の複雑な空域におけるジェネラル・アビエーション機の飛行

https://www.japa.or.jp/e-journal

★――――――――――――――――――――――――――――――――

[5]【お知らせ】セミナー・イベント

★――――――――――――――――――――――――――――――――

≪ATS シンポジウム≫
10 月 17 日　オンライン開催
https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=8

≪Fly with us～空の仕事ワークショップ～≫
10 月 24 日　愛知開催
11 月 14 日　福岡開催
12 月 19 日　沖縄開催
https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4

≪航空安全講習会≫
11 月 22 日　東京開催
https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3

≪航空気象シンポジウム≫
11 月 28 日　東京開催
https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=7

★――――――――――――――――――――――――――――――――

[6]【新発売】JAPA SHOP よりご案内

★――――――――――――――――――――――――――――――――

【新発売】
・ライセンスケース
ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

https://www.japa.or.jp/japa-shop

★――――――――――――――――――――――――――――――――

[7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――

JAPA では会員を募集しております。
ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。
詳細は以下ホームページよりご覧ください。
オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。
https://www.japa.or.jp/member

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

★次回の配信は 11 月中旬を予定しております★
JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。
https://www.japa.or.jp/mail-magazine

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メール　japa@japa.or.jp
ホームページ https://www.japa.or.jp/